

事業名	一時預かり（ファミリー・サポート・センター事業）				
対 象	市民				
内 容	地域において育児の援助を受けたい人（依頼）と行いたい人（提供）が会員となり、会員同士で相互援助活動を行う。				
成 果	地域における子育て支援サービスの充実を図った。				
量の見込み	2 1 0 人	実績値	3 1 3 人	計画評価	A
計画値 (目標確保量)	2 1 0 人	確保量	3 1 3 人		
予算額	8， 6 8 2 千円		決算額	7， 3 5 5 千円	

各視点からの評価				
必要性について	基準①	基準②	基準③	評価
	10点	8点	9点	9点
効率性について	基準①	基準②	基準③	評価
	7点	8点	8点	8点
有効性について	基準①	基準②		評価
	8点	6点		7点
公平性について	基準①	基準②		評価
	8点	9点		9点
優先性について	基準①	基準②		評価
	8点	8点		8点
事業評価	8	評 価 コメント	一時的に保育が必要となる世帯への相互援助活動として有益である。	

次年度以降の方針
一時預かりの支援を必要とする人が利用できるよう、利用料金など利用方法等の啓発をし PR していく。

事業名	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）				
対 象	市民				
内 容	地域において育児の援助を受けたい人（依頼）と行いたい人（提供）が会員となり、会員同士で相互援助活動を行う。				
成 果	地域における子育て支援サービスの充実を図った。				
量の見込み	1, 2 7 3 人	実績値	1, 0 9 9 人	計画評価	B
計画値 （目標確保量）	1, 2 8 0 人	確保量	1, 0 9 9 人		
予算額	8, 6 8 2 千円		決算額	7, 3 5 5 千円	

各視点からの評価				
必要性について	基準①	基準②	基準③	評価
	10点	8点	9点	9点
効率性について	基準①	基準②	基準③	評価
	7点	8点	8点	8点
有効性について	基準①	基準②		評価
	8点	6点		7点
公平性について	基準①	基準②		評価
	8点	9点		9点
優先性について	基準①	基準②		評価
	8点	8点		8点
事業評価	8	評 価 コメント	子育ての相互援助活動を支援するために必要である。	

次年度以降の方針
協力会員を増やすための広報を積極的に推進するとともに、ファミリーサポート事業を必要な人が利用できるよう、利用方法等の周知を図っていく。

事業名	放課後児童健全育成事業（児童ホーム）				
対 象	小学生を持つ家庭				
内 容	保育を必要とする児童を、市の施設で学童保育する。				
成 果	留守家庭児童を児童ホームで保育し、児童の育成に努めた。				
量の見込み	7 4 6 人	実績値	6 3 4 人	計画評価	A
計画値 (目標確保量)	6 6 5 人	確保量	6 6 5 人		
予算額	1 3 4, 0 0 3 千円		決算額	1 2 1, 2 9 3 千円	

各視点からの評価				
必要性について	基準①	基準②	基準③	評価
	9 点	8 点	8 点	8 点
効率性について	基準①	基準②	基準③	評価
	8 点	5 点	8 点	7 点
有効性について	基準①	基準②		評価
	9 点	8 点		9 点
公平性について	基準①	基準②		評価
	8 点	8 点		8 点
優先性について	基準①	基準②		評価
	9 点	9 点		9 点
事業評価	8	評 価 コメント	保護者が就労等により、昼間家庭にいない児童に適切な生活の場を与え、健全な育成を図る事業であり、年々必要性は高まっている。	

次年度以降の方針
<p>利用者の増加ニーズに対応するため平成 2 8 年度に児童ホームを 1 か所新設する。</p> <p>小学校等の協力を検討、模索してゆく。</p>